

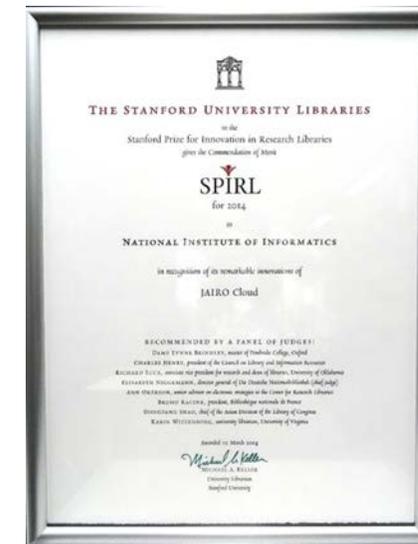
JAIRO CLOUD 500機関計画

高橋 菜奈子 (NII 学術コンテンツ課)

祝

JAIRO Cloud ニュース

- JAIRO Cloudが、スタンフォード大学図書館による「研究図書館によるイノベーション賞 (SPIRL)」の功劳賞を受賞しました。
 - <http://library.stanford.edu/projects/stanford-prize-innovation-research-libraries-spirl/2014-prizes>
- JAIRO Cloudへの参加申請機関数が、サービス開始当初の目標であった200機関を突破しました。
 - 200番目の申請機関日本福祉大学様
- 筑波大学のつくばリポジトリ(Tulips-R)へがJAIRO Cloudに移行しました。
 - <https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/>



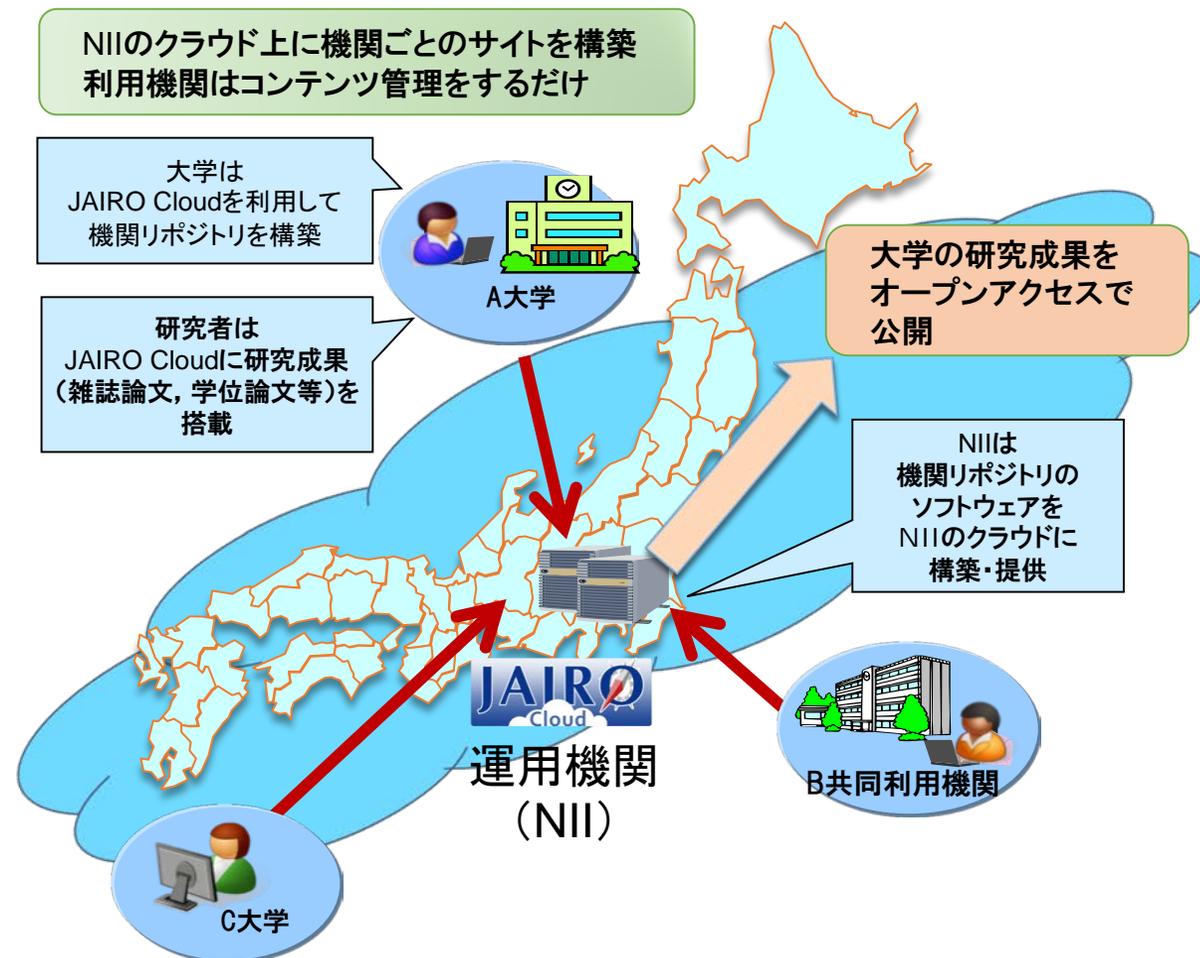
JAIRO Cloudとは

JAIRO Cloudとは

- NIIが開発・提供する機関リポジトリのクラウドサービス
- 独自で機関リポジトリの構築・運用が難しい大学等に対して、研究成果の収集・保存・発信を容易にする仕組みを提供

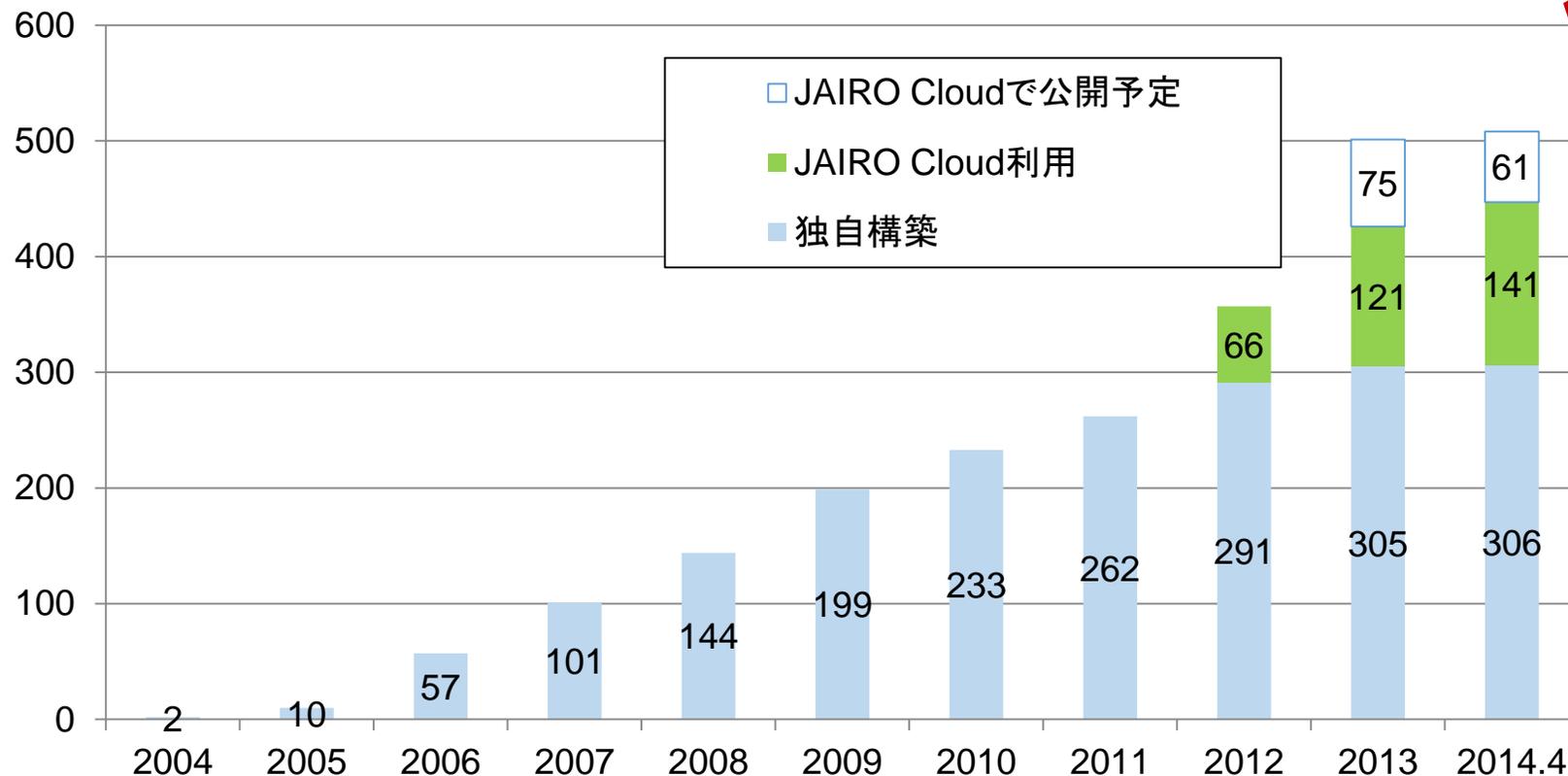
JAIRO Cloudにより

- 大学でのシステム運用負荷の軽減により機関リポジトリ数の拡大
- 必要な機能を備えたシステムをクラウド上で提供することで全体の効率化
- 学術情報のオープンアクセスを推進



機関リポジトリの普及に貢献

構築済機関数の推移



全体の
約40%が
JAIRO Cloud

2014/4/30現在

日本は世界トップクラスの機関リポジトリ大国です。公開予定も含めると、全国の機関リポジトリの約40%をJAIRO Cloudが占めることとなります。

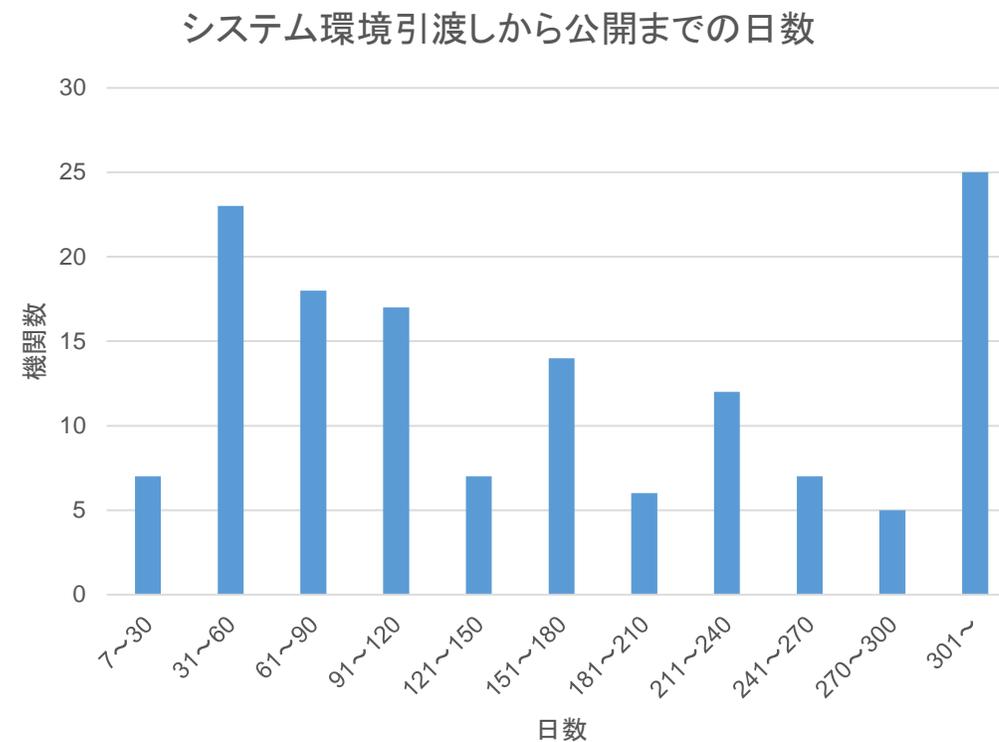
JAIRO Cloud のメリット

JAIRO Cloudのメリット

- ①初期構築
 - 簡単な初期構築
 - サーバーの導入・管理・保守は国立情報学研究所にお任せ
 - 参加機関は登録コンテンツの管理に専念
- ②システム開発
 - 標準的な機関リポジトリの機能
 - 外的要因の変化に合わせて、新しい機能を搭載
 - CSI委託事業で推進してきたプロジェクトの成果を取り込み
- ③運用サポート
 - 映像マニュアルなど充実したマニュアル
 - JAIRO Cloud講習会を実施
 - 参加機関によるコミュニティーで日々の疑問を解決

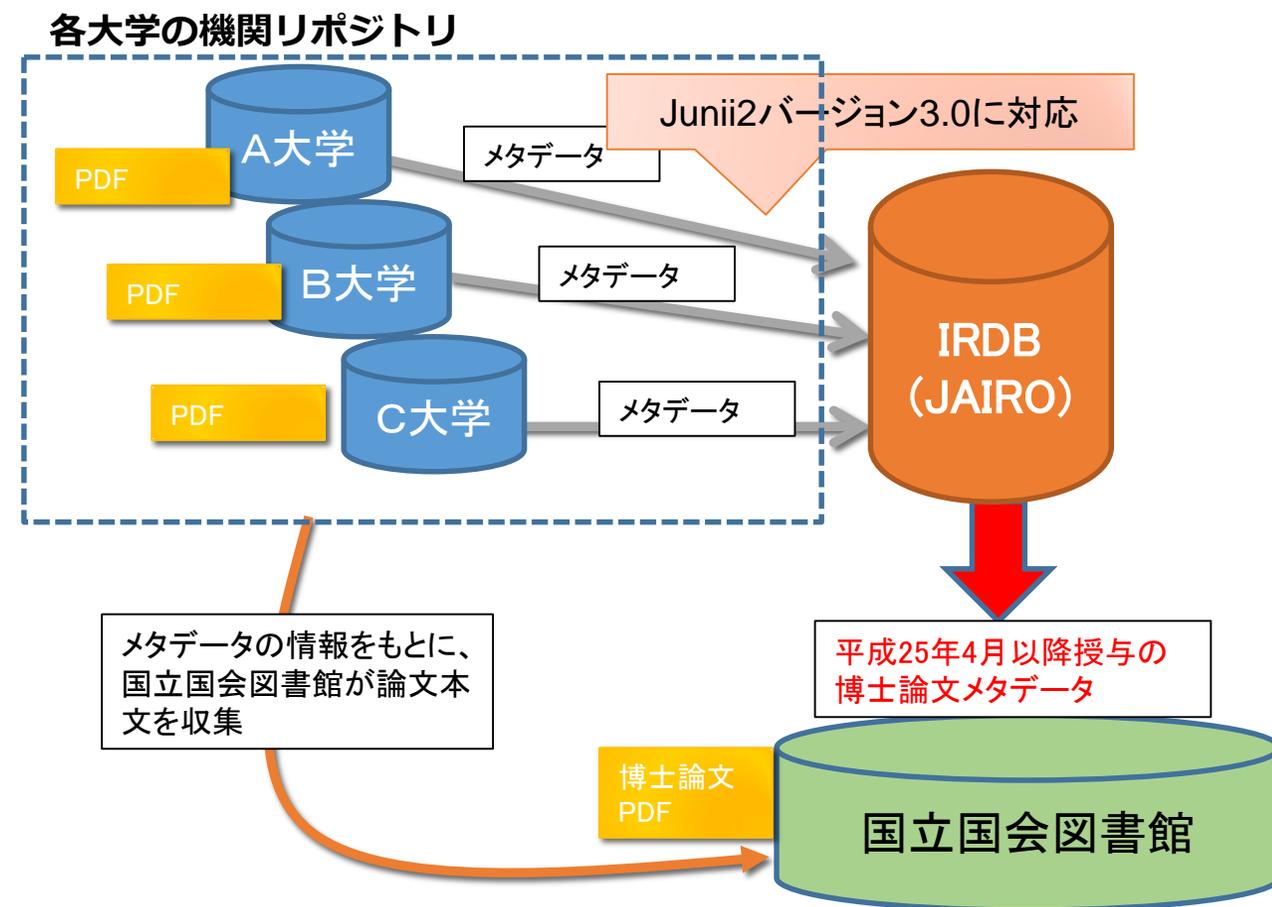
簡易な初期構築

- 大学で独自にサーバーを持つのに比べて、機関リポジトリの構築が簡単
- システム環境引渡しから公開までの期間は
最短7日(平均172日)
- 参加機関は登録コンテンツの管理に専念



学位論文の公開支援

- 学位規則改正より、平成25年4月1日以降授与の**博士論文のインターネット公開が義務化**
- **国立国会図書館への送付**
 - 機関リポジトリからIRDBにデータ提供申請をすること
 - junii2バージョン3.0に準拠したメタデータを送付すること
が必要になります。
- JAIRO Cloud利用機関は**国立国会図書館への送付が簡単に実現**

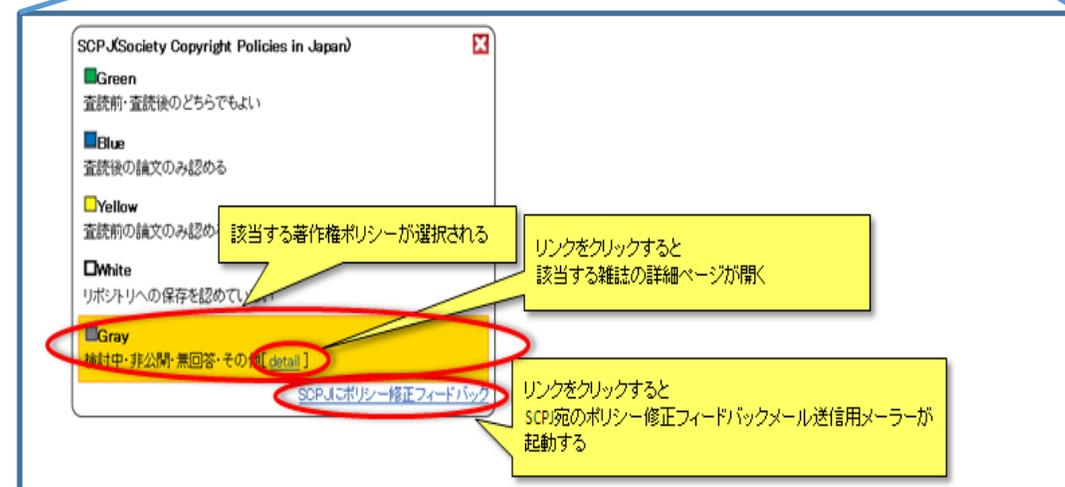
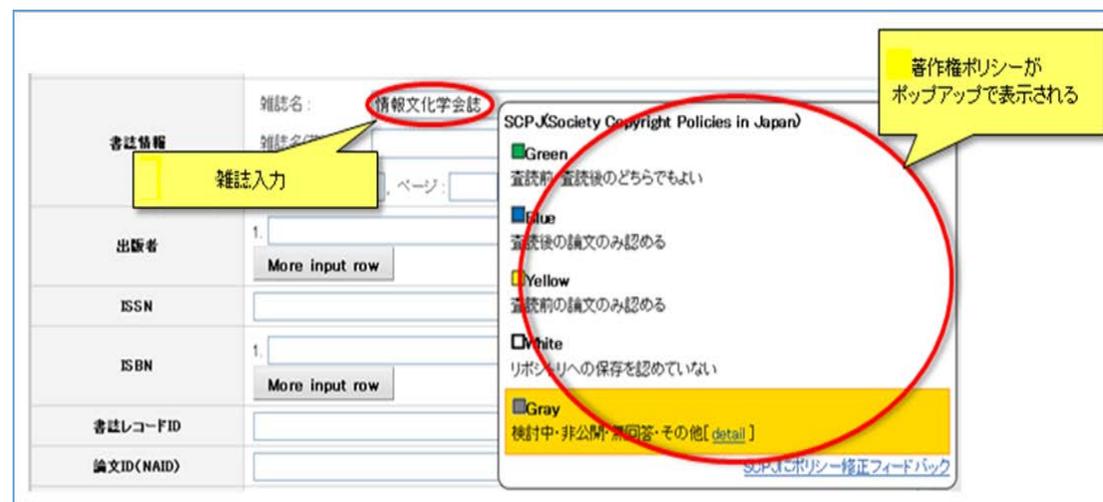


SCPJ(学協会著作権ポリシーデータベース)連携の実現

- SCPJとは
 - 学協会の著作権ポリシーを確認するツール

<http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/>

- JAIRO Cloudでコンテンツを登録する際に、簡単に著作権ポリシーの確認が可能な機能を搭載
- 学協会のポリシー変更に気づいたら、SCPJ事務局にフィードバックする機能もあり

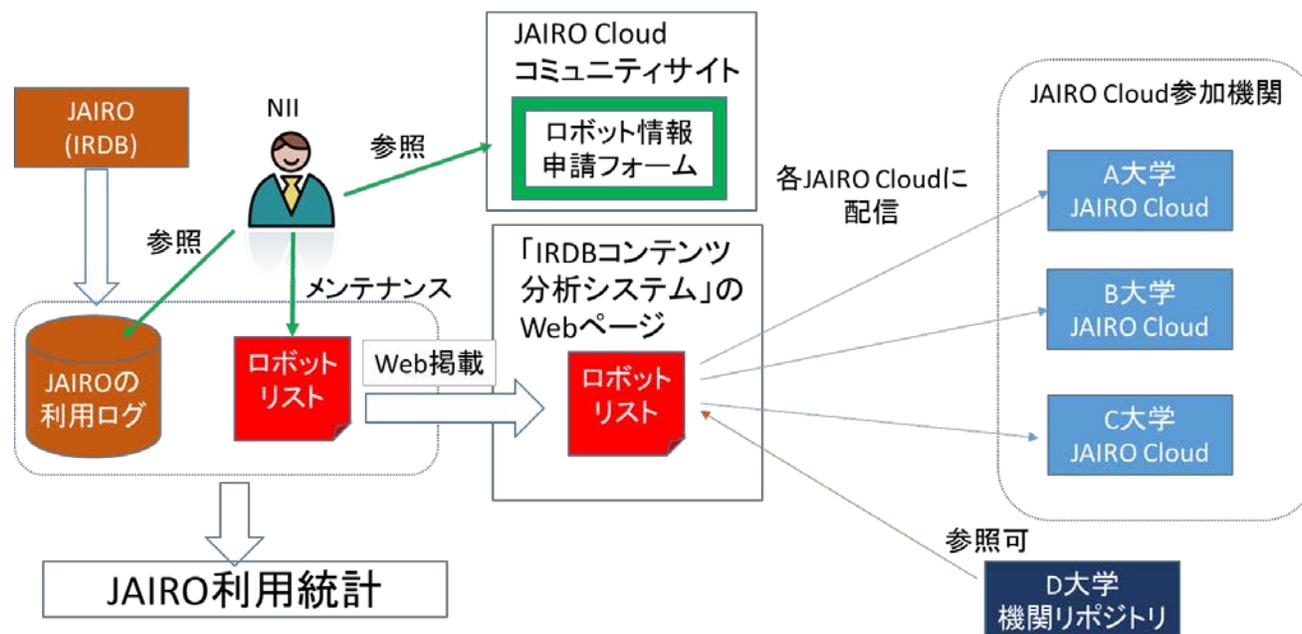


ROAT相当機能の組み込み

• ROATとは

- 機関リポジトリの利用統計を、統一された方法で解析し、各機関リポジトリの統計の比較を可能にするツール
 - ダブルクリック排除・ロボットリストの管理

• JAIRO CloudではROAT相当の統計機能を追加予定



機関リポジトリのコンテンツにDOI登録が可能に

- DOI (Digital Object Identifier) とは
 - コンテンツの電子データに登録される国際的な識別子
 - 恒久的にデジタル資料を一意に示すことが可能
 - コンテンツの所在情報 (URL) に変換
 - 日本では、ジャパンリンクセンター (JaLC) が DOI を管理

<http://japanlinkcenter.org/>

DOIのメリット

- ★研究者が引用のための識別子として利用できる
- ★コンテンツのURLが変更になっても、リンク切れを防げる
- ★論文別統計の際に、論文の識別子として利用できる

[DOIの例]

info:doi/10.1241/1234.56.789

プレフィックス
機関の番号

サフィックス
コンテンツの番号

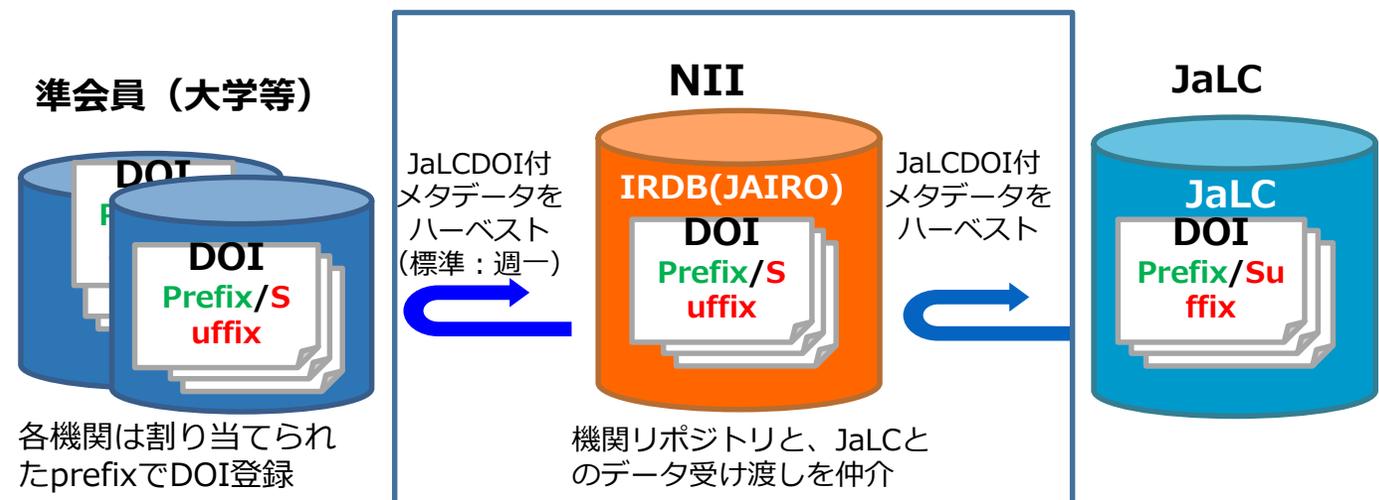
URLに変換

→ <http://repo/1234/...>

リポジトリへ

JaLC DOI登録の仕組み

- IRDBハーベスト対象の機関リポジトリは、NIIの下位団体の準会員となることで、無料でJaLC DOIを登録
 - 機関リポジトリで必要な対応
 - junii2バージョン 3.1 のselfDOI メタデータ項目の追加
 - DOIのPrefixやSuffix管理を、システムにより行うのであれば、機関リポジトリを改修
- JAIRO CloudではDOI登録のための機能を追加予定
- 運用上必要なこと
 - DOIを責任をもって登録・管理
 - メタデータは準会員のためのガイドラインにそって入力



JAIRO Cloud講習会

- JAIRO Cloud参加機関、およびJAIRO Cloud申請を検討している機関の担当者を対象に、機関リポジトリの円滑な運用に必要な知識・技術の修得を目的とし講習会を開催。

平成26年度開催日程	都道府県	会場機関
平成26年 6月16日～ 6月17日	東京都	国立情報学研究所
平成26年 7月 3日～ 7月 4日	北海道	天使大学
平成26年 9月11日～ 9月12日	京都府	京都橘大学
平成26年11月17日～11月18日	東京都	国立情報学研究所
平成27年 2月 2日～ 2月 3日	東京都	国立情報学研究所

定員各回20名（NII会場は32名に増員）

コミュニティサイト

- 参加機関向けのフォーラム
 - 操作方法等の疑問を解決
- みんなで作るマニュアル
 - 現場の疑問やティップスをマニュアルに。

The screenshot shows the JAIRO Cloud Community Site forum page. The header includes the JAIRO Cloud logo and navigation links: トップページ, サービスについて, ニュース, ドキュメント, コミュニティ, リンク, よくあるご質問. The main content area is titled 'フォーラム (参加機関用) を利用する前に' and contains several bullet points providing instructions for using the forum. A sidebar on the left lists navigation options: サービスについて, ニュース, ドキュメント, コミュニティ (with sub-items: よくあるご質問, みんなで作るマニュアル, リンク), and よくあるご質問. The bottom right corner features a 'Your MyP Upgrade to' button.

最新登録 | ログイン

Japanese Institutional Repositories Online Cloud

トップページ サービスについて ニュース ドキュメント コミュニティ リンク よくあるご質問

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

トップページ > コミュニティ

● サービスについて
● ニュース
● ドキュメント
● コミュニティ
● よくあるご質問
● みんなで作るマニュアル
● リンク
● よくあるご質問

フォーラム (参加機関用) を利用する前に

- 参加機関向けの、操作方法に関するフォーラムです(投稿には、ログインが必要です)。
- 過去のフォーラムや「よくあるご質問」、「みんなで作るマニュアル」に類似の質問がいくつかご確認ください。
- 質問は1件ごとにスレッドを作成してください。
- 許諾や著作権、学位論文などリポジトリの構築に必要な情報はデジタルリポジトリ連合(Digital Repository Federation/ダーフ)に過去の情報が蓄積されていますのでご確認ください。
- 件名に●(はなまる)がついた質問は解決済です。
 - 投稿したスレッドについて解決した場合、投稿者は末論の記載で下記をご投稿ください。
 - 末論記事のアイコンに●(はなまる)マークつける【付手手順はこちら】
 - 件名に「解決済」との記述
 - 件名に「解決済」と明記された投稿を行っていただけないと JAIRO Cloudサポート事務局側では解決済みか否かの判断が付きまませんので、ご協力をお願いします。よろしくお問い合わせ申し上げます。
- 件名に●(はなまる)がついた質問は「みんなで作るマニュアル」に掲載です。
 - 投稿したスレッドについて内容等 みんなで作るマニュアルに掲載した場合、「みんなで作るマニュアル」へ投稿された方は末論の記載で下記をご投稿ください。
 - 「みんなで作るマニュアル」に掲載であることご懸念する場合は同様となります
 - 末論記事のアイコンに●(はなまる)マークつける
 - 件名に「みんなで作るマニュアル掲載」との記述
 - 掲載した「みんなで作るマニュアル」へのURL

フォーラム (参加機関用)

ユーザーサポート [記事一覧]

フラット表示へ

1 2 3 4 5 次 ▶ 20件 ▼

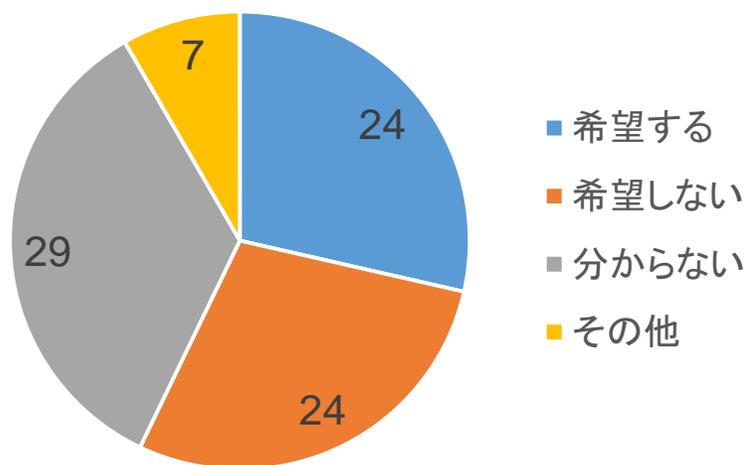
Your MyP Upgrade to Upgrade To

JAIRO Cloud 移行実験

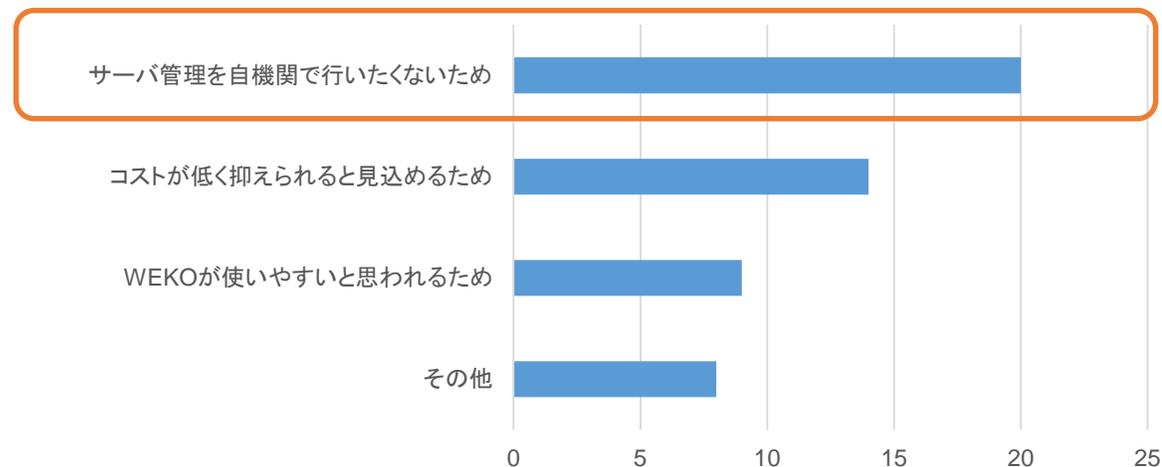
独自構築機関へのアンケート調査

- 平成24年度にアンケートを実施
 - 期間：平成24年9月25日～10月15日
 - 独自構築機関の回答数：84

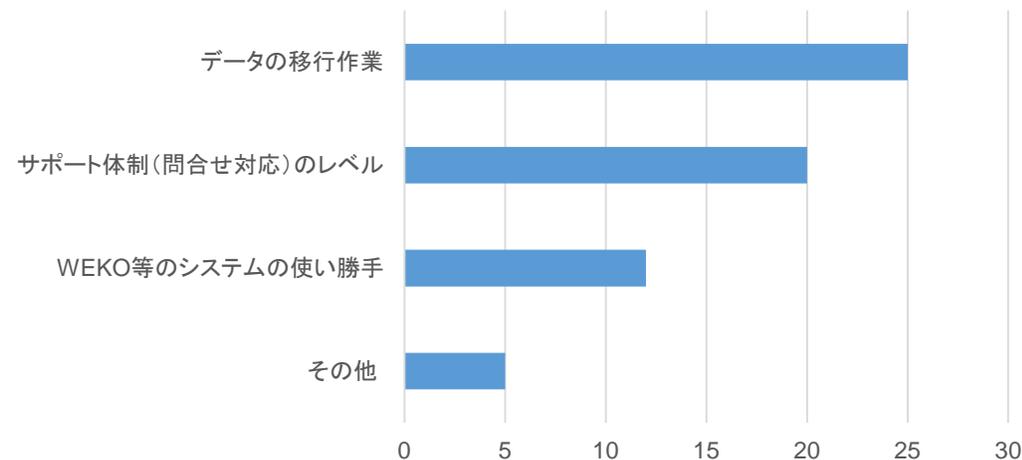
構築済機関も申請可能となった場合
JAIRO Cloudの利用希望



希望する理由

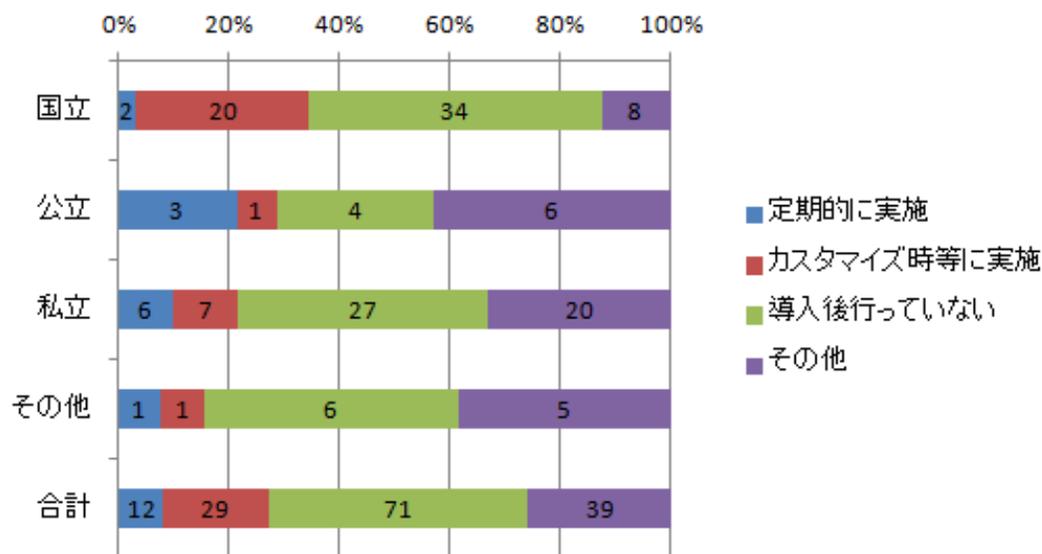


想定される課題

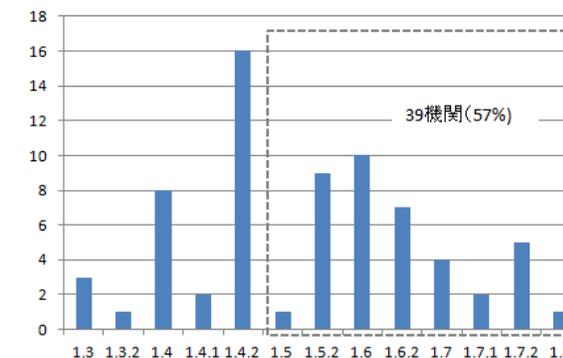


独自構築機関のバージョンアップの状況

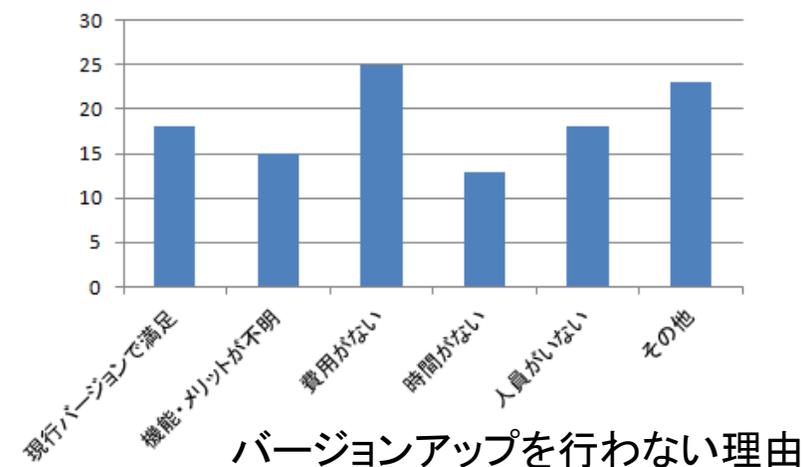
- 導入後バージョンアップを行っていない機関が**46%**
 - 最新機能への追従ができない！
 - セキュリティーは大丈夫？



機関リポジトリ用ソフトウェアのバージョンアップの状況



DSpaceのバージョンの分布



バージョンアップを行わない理由

金沢大学「オープンアクセス環境下における同定機能導入のための恒久識別子実証実験」報告書より
https://www.nii.ac.jp/irp/archive/report/pdf/2_kanazawa.pdf

データ移行実証実験

機関リポジトリ既構築機関が
JAIRO Cloudへのシステム移行を
支障なく行えるかどうかの実証実験

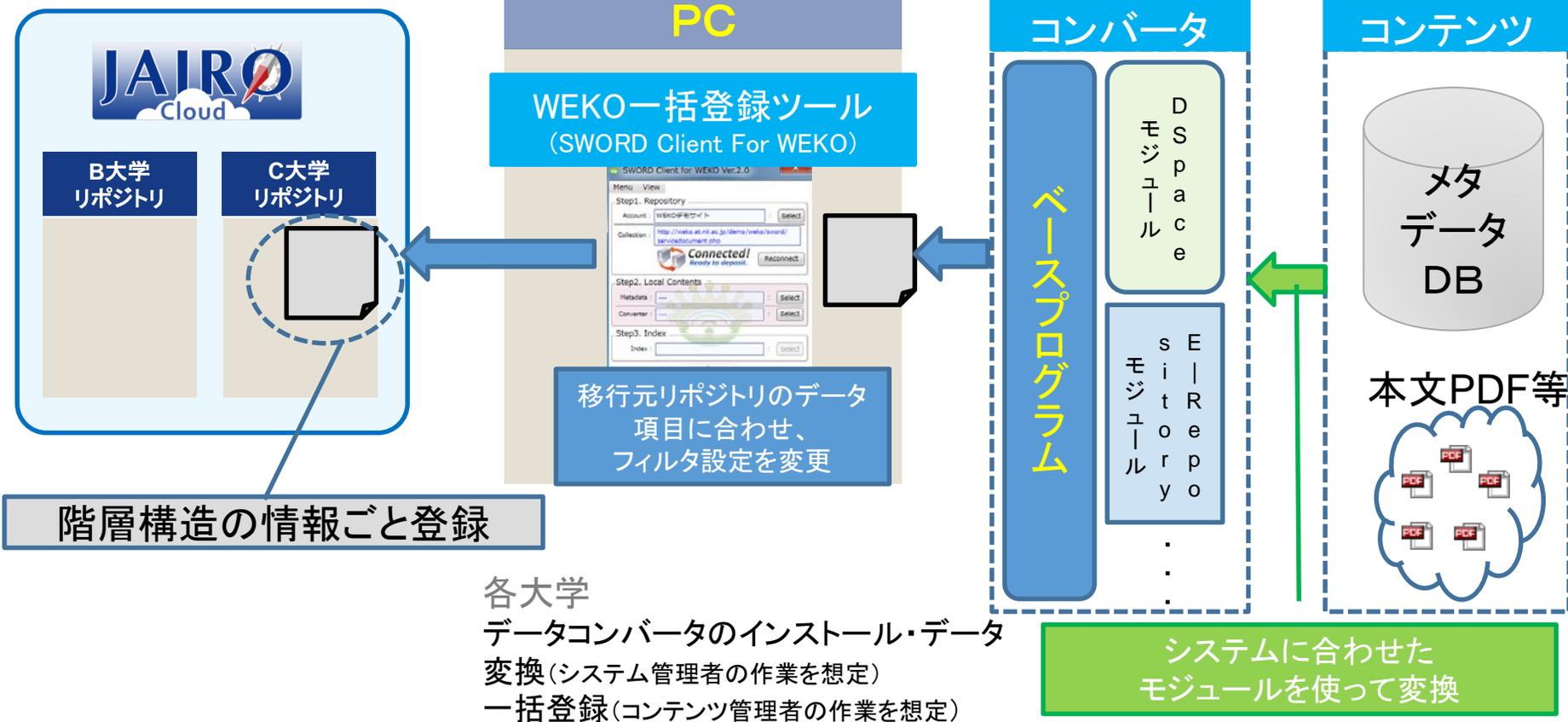
内容

- 利用機関数の多い機関リポジトリソフトのデータコンバータを開発
- システム移行に係る課題を整理し、データコンバータとともに配布
- データの移行を実際に行う
- 平成25年度はヒアリング等に基づき、JAIRO Cloudへの追加機能開発も行った

JAIRO Cloud移行作業のイメージ

NII

データコンバータ配布・
モジュール作成仕様公開
JAIRO Cloud環境用意



平成25年度の実験状況

実験対象システム		実験参加機関	進捗
DSpace	Ver 1.5	筑波大学	全件データ移行実験済
	Ver 1.6	信州大学	(平成26年度に実験予定)
	Ver 1.4	核融合科学研究所	(平成26年度に実験予定)
NALIS-R		ゆうキャンパス	データコンバータ開発まで完了
XooNlps		旭川医科大学	一部データのデータ移行実験済
E-Repository		千葉大学	データコンバータ開発まで完了

DSpaceのE-Person相当機能を追加
handle.netのハンドリングシステム対応

アクセス統計の引継の検討

平成25年度実施結果

• 筑波大学[DSpace ver 1.5]

- つくばリポジトリの全アイテム(約3万件)がJAIRO Cloudに登録できたことを確認。
- 登録時の不具合を確認(対策は平成26年度に実施予定)。
- 差分更新についての検討を実施
- DSpaceのHandleシステム及びE-Person相当機能をWEKOに実装

• 旭川医科大学[XooNips]

- AMCoRのArticleアイテムタイプ(約5千件)について、JAIRO Cloudに登録できたことを確認
- 登録時の不具合を確認(対策は平成26年度に実施予定)
- 統計データの移行について検討を実施

初

平成26年5月21日JAIRO Cloudに筑波大学が参加しました。
機関リポジトリを既に構築している機関では初となります。

今後の計画

【平成26年度前半：移行実験】

- 平成25年度実験で確認しきれなかった点を検証する。
 - 実験参加大学が自力でデータ移行作業ができること
 - 主要なリポジトリシステムに対応できること

平成26年度 実験参加大学	現行システム
千葉大学	E-Repository
ゆうキャンパス(山形大学)	NALIS-R
信州大学	DSpace 1.6
核融合科学研究所	DSpace 1.4
旭川医科大学	XoonIps (Article外)

【平成26年度後半：本番移行開始】

- 既構築機関の参加申込み受付開始。
 - 参加大学は、データコンバータを用いて、自力でデータ移行作業
 - 各機関の実施時期については、要調整

国立情報学研究所は、
既構築機関からの移行も含め
JAIRO Cloud 500機関構築を目指します。

参考

- ✓学術機関リポジトリ構築連携支援事業
<http://www.nii.ac.jp/irp/>
- ✓JAIRO Cloudコミュニティサイト
<https://community.repo.nii.ac.jp/>
- ✓国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携チーム機関リポジトリ担当
ir@nii.ac.jp